

公益社団法人 茨城県作業療法士会
平成 29 年度 第 2 回常任理事会 議事録

日時：平成 29 年 9 月 17 日（日） 9：00～13：00

場所：茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）

出席：（理事）大場、角田、小森、大内、笥、荒井、武士、関、山倉（事務局）開江総務部副部長

書記：大内、荒井、開江

平成 29 年 9 月 17 日 9 時 00 分、茨城県作業療法士会事務所（水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館内）において、理事 9 名の出席のもとに常任理事会を開催し、下記議案につき全員一致をもって可決確定（一部継続審議）の上、13 時 00 分散会した。

【Ⅰ 審議事項】

1. イキイキ地域づくり事業部事業について（小森事務局長：細田部長代理）→継続審議
 - ・今年度新設された部であり、事業の進行方法についての審議を行った。
 - ・活動内容について、茨城県リハビリテーション専門職協会との窓口業務等は、前身の地域支援事業推進部より継続業務。
 - ・新規事業案を提示。地域住民とのワークショップを開催予定。インクルーシブデザインを用いて地域づくり、県民すべてを対象に身近な場所で実施していく。
例）ペットボトルの蓋を片手であけるためには？
 - ・検討事項として、対象者や目的がはっきりしていない所もあり、誰にどのように伝えるのか、目的を明確化し、広報戦略・予算も含めて今後具体的な内容を稟議書にて上げていただく。
ワークショップ 62,000 円を公益事業として土浦医療圏での開催とするか検討。
 - ・今年度実施する具体的な内容として、今年度以降、総合支援事業を考えた中でのワークショップ開催、今後のビジョンを作っていく。具体的には、通いの場の創出、就労支援、障害児に対することを含めて地域包括ケアシステムを踏まえた中での開催を検討していく。地域づくりにつなげる。また、部員の多様化（介護保険分野のセラピストを含めるなど）を図っていく。
 - ・全部局とのかかわりがある部署であり、市町村ともつながってくるため、今後重要な立ち位置となる。より具体的な内容で再度稟議をあげていただく。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. 認知症対策委員会の活動状況について（認知症対策委員会 山倉敏之委員長）
 - ①茨城県からのモデル事業について
 - ・認知力アッププログラム教材を作成していく。
 - ・活動状況として、モデル事業の第一弾である県主催の研修会に参加した。筑波大学附属病院のMC I 患者へのデイケアの取組みが中心の研修であった。デイケア見学会があり、最後に教材作成モデル事業の説明があった。教材の内容としては特定の要件はなく各士会に任せるとのことであった。
 - ・来年 2/28 に県庁でモデル事業の報告会があり、当士会としてはVRを使ったモデルの報告をしていく方向で進めていく。
 - ②日本作業療法士協会よりアップデート研修の開催
 - ・筑波記念病院にて 10/1 に実施予定。現在 43 名エントリーされており、修了者には終了証を授与する予定。今後は、ホルダー、ピンバッチの授与も検討。

2. 自動車運転関連事業の活動状況について (小森事務局長)
- ・委員長を緑川先生(会田記念病院)とし、今年度委員会を立ち上げた。
 - ・活動内容として、35の全教習所にアンケートを配布した。
認知症の発症に伴い免許証を失効するが、結果としては、認知症に対する現場の理解度は厳しい状況。また、顧客確保で手一杯な状況で収益のないことには手を付けづらい状況。
 - ・今後の活動内容として、教習所との横のつながりを強化していく。県の教習所協会との連携をとるため、間にホンダ技研に入ってもらおう。着地点としては、対象者の教習にOTが同乗したうえで、障害者に対する教習の在り方を協働体制で臨むこととなる。
 - ・実施したアンケート結果はまとまってはいるが、資料となっていない。グラフ化、考察、要望(具体例)、結論→当事者、会員、教習所、県に向けてシンプルに報告書を作成していく。事務局、広報局にて整理し、考察を加えていく。
 - ・機能訓練事業の委託事業となっている病院から委員を募っていく。
 - ・免荷装置、ドライブシミュレーターの設置、5か所(県の全額負担)
 - ・ホンダ技研(ドライブシミュレーターを作成)にヒアリングを実施。実際の現場担当者に依頼。
 - ・今後の検討事項として、委員会で良いのか、予算をどのようにしていくのか検討していく。
3. 平成29年度健康づくり推進事業功労者表彰について (小森事務局長)
- ・例年、県から表彰の推薦依頼がある。また、他団体も含め年間4~5件程度の表彰の推薦依頼がある。
 - ・今後の活動として、地域で活躍している先生を推薦していく。また、今年度中に集約して、データベースを作成し、見合った先生がいたら連絡を取っていく。
 - ・今後の検討事項として、今後、基準を満たす人が増えていくため、その時にどうするのか整備していく必要もある。
4. 生涯教育制度受講登録モデル士会について (寛教育学術局長)
- ・バーコードを使用した障害教育受講登録について当士会がモデル事業として参加している。
 - ・活動内容として、OTの会員証にバーコードを付けた(バーコードをスキャンすることで年会費の有無、現職者選択研修の参加確認が確認できる)。来年度から研修の受付をバーコードを使用して実施していく予定。ソフトを使用しての参加者リストを作成していく。
 - ・今後の活動として、来年度以降システムを一本化していく方向。会員カードを忘れた場合、会員番号で登録することができるが、会員番号を覚えておかななくてはならない為、周知していく。受講当日、会員証を忘れ、会員番号が分からない会員がいた場合、受付ができないため、県士会の会員名簿を印刷し用意しておき会員番号が確認できるようにしていく。
 - ・パソコン・バーコードリーダーなどの関連機器は寛局長が管理する。
 - ・今後は、ICチップ、クレジットカード(県士会費、協会費の引落とし)になるのではないかと思われる。
5. 平成29年度財務予算の進捗状況について (武士財務部長)
- ・平成29年度の財産予算の進捗状況について武士財務部長より報告。
 - ・事業の実行が停滞しがちで、昨年度よりも事業遂行率が遅れている。
 - ・平成30年の予算案を11月の理事会で各部局、委員長ごとに依頼検討。
 - ・会費納入率は92パーセントと啓発活動により納入率は高く保たれている。
 - ・事務局について、予備費で13万、がん関連10万円(県から10万)県から確実に10万円下りるとも限らない。見込み以外の10万円が入るかもしれない。遊休財産が+10万円になってしまうのではないか?精神障害対策委員会で10万円計上。書類棚15万円ほど計上。総会議案書38万円と計上していたが、実際は18万円。余った部分を公益事業に当てていく。
 - ・広報局について、がんの広報・市民公開講座の予算は地域貢献局へ移行する。地域貢献局に予算をあげて使用していただくように依頼。市民公開講座の予算が倍額程になっている可能性がある。
 - ・教育学術局について、選択研修、精神障害、MTDLPの事例検討会を実施。
 - ・予算を上げるためにスタッフのアルバイト代を払うのはどうか?→人件費をここだけつけるのは難しい、全体で見えていくように。
 - ・事業費の支出が少ない。新人研修の減少に伴い、収入が減額している。

- 学会の予算については、中村会長をお招きするため、接待費で支出が増えると思われる。
- 地域貢献局について、市民公開講座、診療、介護報酬改定研修会を実施・予定しているが、予算額に達するのかわからない。50パーセント超えればよいのではないか？
- 事業遂行率を計算元となっていた予算書の支出額が誤っている可能性あり。財務部で確認する。

6. 第10回茨城県作業療法学会の進捗状況について (荒井学会長)

- 市民公開講座、「障がい者スポーツの魅力と必要性」に表題を変更した。
- 基調講演について、中村会長は、前日に日本作業療法士協会の理事会が東京であるため、終了後、茨城県に来て前泊予定。ホテルの予約と、前日に懇親会を実施するよう場所の予約を行う。参加者は、歴代理事、監事、実行委員で出席の声かけを行っていく。
- 演題発表について、9月15日演題締切済み。82演題登録があったが、締切が早かった為登録しづらかったとの意見もあった。
- アクティビティーコンテストについて、3名4演題の登録あり。募集継続していく。
- 機関誌作成について、機関誌のフォーマットを作成している。10月までに抄録提出を依頼し、11月に発送予定。
- 当事者作品展について、現在作品募集中。今後も引き続き募集していく。
- 託児所について、広報については、機関紙に1ページを割いて周知していく。
- 問い合わせ先について、県士会アドレスと学会アドレスと連絡先が統一できていなかった。次年度以降は学会専用のアドレスに変更していく。
- 機器展示について3Dプリンターの展示依頼。
- 機関紙への広告依頼について、県士会会員の所属先に施設の広告掲載依頼を行う。広告依頼をメルマガでの配信し、掲載依頼の連絡があった施設に対しては、後日施設長に対して、正式な文書を送付する。OT県士会員がいる施設は、広告のみ半ページ3000円+税。1ページで6000円+税とする。また、広く業者への広告依頼を行う。広告費については、半ページにて6000円+税とする。出店する業者は出店料・広告費込みにて半ページ10000円+税にて依頼する。

7. その他

- 3士会の理事会は毎月→3か月1回とする。
- 市町村事業について、坂東市の前任者が退職、角田広報局長が後任者を選任予定。
- PT、OT、STの見学事業について、次年度からOTが担当となる。
- 派遣事業について、前任者が8月末で退職。後任者として深作さん（事務職）が担当。県からは専門職が就くようにとのお話、コーディネーターとしてはPT県士会の齋藤会長が就くこととなった。
- 臨床工学士会が事務所内に設立される予定。
- 3士会、医師会との懇親会は、PT士会が監事の予定。今後検討に入る。
- リハケア学会について、つくば国際にて開催予定。エントリー数増加のため協力を。次年度より体制変更予定。3士会で事務局を作っていく。

次回、第3回常任理事会について

平成29年11月12日（日）9:00～ 茨城県作業療法士会事務所にて開催予定（再調整中）

議事内容：第10回茨城県作業療法学会進捗状況報告 他